

授業科目	栄養治療学Ⅱ (Aクラス)				単位	2		
履修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21803J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	渡邊 和美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>医療機関に従事する管理栄養士は、栄養サポートチームの一員として栄養管理を担う。適切な栄養管理は、治療の促進、合併症発現の抑制、入院期間の短縮、ひいては、医療費の削減に繋がることになり、重要な業務といえる。</p> <p>本科目では、傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、各疾患の成因・病態、治療法ならびに具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各疾患における栄養食事療法の意義と目的、栄養アセスメント法、栄養ケア計画の作成、栄養ケア実施後のモニタリング法ならびに栄養ケア・マネジメントの評価法について解説する。医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することで、国民の健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識し、管理栄養士としての資質を身につけることを目標とする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。</li> <li>各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。</li> <li>各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。</li> <li>各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。</li> <li>薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。</li> <li>医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べるができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50						50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5						5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～6 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、さまざまな疾患の栄養管理方法を具体的に提示できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。</li> <li>各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。</li> <li>各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。</li> <li>各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。</li> </ol>				

			5. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 6. 医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べる ことができる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間 (分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する	講義	復習:該当部分を理解する。	0 30
2	テーマ:疾病を理解するため基本・症候 炎症と創傷治癒、良性腫瘍と悪性腫瘍、萎縮、褥瘡、病歴聴取、血液浄化療法等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.1-30	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
3	テーマ:NCP(Nutrition Care Process) 栄養診断の用語(栄養診断コード)の根拠を示す PES (problem, etiology ,sign) 報告の方法について解説する。 参照ページ:p.57-87	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
4	テーマ:精神・神経疾患 神経性やせ症、神経性過食症、パーキンソン病等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.252-260	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
5	テーマ:傷病者の栄養補給、クリティカルケア 栄養投与方法の選択、経口栄養法、経管栄養法、静脈栄養法、クリティカルケア等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.88-102 p.245-251	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
6	テーマ:代謝・内分泌系疾患、妊娠期疾患 メタボリックシンドローム、肥満症・高度肥満症、糖尿病、脂質異常症、妊娠期疾患等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.118-141 p.325-331	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
7	テーマ:循環器系疾患、消化管の悪性腫瘍 高血圧、動脈硬化症、脳血管障害、虚血性心疾患、緩和ケア、ターミナルケア等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.173-191 p.230-238	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
8	テーマ:消化器系疾患、身体・知的障がい者 歯周病、口内炎、胃食道逆流症、消化性潰瘍、炎症性腸疾患、肝疾患、身体障がい等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.142-172 p.317-323	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
9	テーマ:傷病者の栄養管理、内分泌疾患 傷病者、要介護者、甲状腺機能亢進症・低下症等の栄養管理、また医療保険制度、介護保険制度を解説する。 参照ページ:p.31-47 p.224-229	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
10	テーマ:腎・尿路系疾患 急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、慢性腎臓病、血液・腹膜透析等の栄養管理について	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30

	解説する。 参照ページ:p.192-223			
11	テーマ:血液系疾患、免疫、感染症 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、血液腫瘍、凝固異常、食物アレルギー、膠原病等の栄養管理について解説する。 参照ページ: p.268-276 p.288-302 p.303-306	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
12	テーマ:薬物と栄養・食事の相互作用、栄養障害、周術期 栄養・食品が医薬品に及ぼす食物の影響、飢餓、低栄養、電解質異常、術前術後等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.48-56 p.103-117 p.239-244	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
13	テーマ:呼吸器系、運動器系、摂食機能障害 肺炎、誤嚥性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、くる病、骨軟化症、咀嚼・嚥下障害の栄養管理について解説する。 参照ページ: p.261-267 p.277-278 p.307-316	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
14	テーマ:乳幼児期、小児期疾患 小児糖尿病、小児肥満、先天性代謝異常、乳幼児下痢症等の栄養管理について解説する。 参照ページ:p.332-354	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
15	テーマ:高齢期疾患、総括 老年症候群、褥瘡、認知症、フレイル等の栄養管理について解説し、全体のまとめを行う。 参照ページ:p.355-368	講義	予習:教科書で確認する 復習:該当部分を教科書と配布資料で確認する。	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」で修得した知識を必要とする。特に疾患の成因・病態および治療法(「人体構造機能と疾病の成り立ち」等)に関する知識を必要とする。
テキスト	塚原丘美編:臨床栄養学 Nutrition Care Process に沿った傷病者の栄養管理 (医歯薬出版株式会社) ISBN:978-4-263-72034-9
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	成績評価として、試験を実施する。 詳細については、授業の中で説明する。